

## 平成 30 年度 第 1 回古賀市図書館協議会会議録

会議名称：平成 30 年度第 1 回古賀市図書館協議会

日 時：平成 30 年 5 月 22 日(火)14 時～15 時 30 分

場 所：古賀市役所第一庁舎 4 階第 2 委員会室

主な議題：①委嘱書の交付

②平成 29 年度事業報告について

③平成 30 年度事業計画について

傍聴者：0 名

出席者：安部 由美子委員 檜山 みどり委員 鈴木 章委員 河村 正彦委員  
村山 美和子委員 渋田 京子委員 久池井 良人委員 石丸 貴子委員  
以上 8 名

欠席者：0 名

事務局：5 名

配布資料：①レジュメ

②資料 1 平成 29 年度活動目標取組状況

③資料 2 平成 29 年度事業報告

④資料 3 平成 25 年度～29 年度 図書館の利用状況比較

⑤資料 4 平成 30 年度 市立図書館の運営方針と活動目標

⑥資料 5 平成 30 年度事業計画

### 1 開会のことば

(事務局) 本日は、皆様御多用中お集まりいただきましてありがとうございます。早速ですけれども、資料の確認をさせていただきたいと思っております。レジュメ、資料 1、平成 29 年度活動目標取組状況、資料 2、平成 29 年度事業報告が 2 枚、資料 3、平成 25 年度～29 年度図書館の利用状況比較が 2 枚、資料 4、平成 30 年度市立図書館の運営方針と活動目標、資料 5、平成 30 年度事業計画をお配りしております。

本日は第 2 委員会室に会議を進めさせていただきます。会議の公開制度に基づきまして、傍聴席を設けております。会議の内容につきましては、古賀市のホームページ上に公開されますので御了承ください。お手元のマイクはお話をされるときにスイッチをオンにしてください、終わったらオフにさせていただくようよろしくお願いいたします。

それでは、平成 30 年度第 1 回古賀市図書館協議会を進めてまいります。

その前に、今年度、人事異動がありましたので、御紹介をさせていただきます。教育部長青谷でございます。

(部長) 4 月 1 日付で教育部長を拝命いたしました青谷昇といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局) それから、文化課長の力丸でございます。

(課 長) 皆さんこんにちは。4月の人事異動で、文化課長を拝命いたしました力丸と申します。前任は生涯学習推進課でございました。その前がサンフレアこが館長でしたので、お会いした委員の方もおられると思います。どうぞよろしく願いいたします。

(事務局) 図書館系の事務局はかわりありませんので、よろしく願いいたします。開会の言葉を文化課長の力丸よりいたします。

(課 長) 改めましてこんにちは。委員の皆様におかれましては、古賀市の図書館運営にさまざまな御意見をいただきましてまことにありがとうございます。平成30年度初めての協議会の開催となりますことから、平成29年度の事業報告並びに、平成30年度の事業計画等につきまして御協議をいただきたいと思っております。委員の皆様からは、御意見をいただき、図書館の運営につきまして御助言をいただければ幸いと考えております。

それでは、平成30年度第1回古賀市図書館協議会を開催いたします。よろしく願いいたします。

## 2 委嘱書の交付

(事務局) それでは委嘱書の交付を行います。

昨年度まで市内小中学校校長会代表で委員をしていただいております橋本由里委員が、平成30年3月31日をもって退職されましたので、解嘱ということになっております。

古賀市生涯学習センター条例第20条第1項第2号の古賀市図書館協議会の委員について、「委員の任期は2年とする。ただし、補欠として委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。」と定められております。このことから、今年度、市内小中学校校長会より、古賀東小学校長の安部由美子先生を委員として推薦いただき、お願いをしたところ、快くお引き受けいただいております。

委嘱書の交付を部長よりいたします。安部校長先生、よろしく願いいたします。

(部 長) よろしく願いいたします。

(事務局) 安部委員さん、一言お願いします。

(安部委員) 4月1日に、古賀市立古賀東小学校の校長を拝命いたしました安部由美子と申します。どうぞよろしく願いいたします。図書館協議会ということで、実は古賀東小学校が読書活動の昨年度までの取組について文部科学省より表彰を受けております。4月23日に東京で表彰式がありまして、参加をさせていただいたところです。

学校としましても、古賀市内の子ども達の読書活動をさらに推進していけるように、少しでもお役に立てるように努めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

(事務局) どうぞお願いいたします。ありがとうございました。

### 3 部長あいさつ

(事務局) 続きまして、古賀市教育委員会部長、青谷より御挨拶を申し上げます。

(青谷部長) 改めまして、本日は大変お忙しい中、第1回古賀市図書館協議会に御出席をいただきましてありがとうございます。先ほど4月の異動でかわられました安部委員の委嘱書の交付をさせていただきました。委員の皆様におかれましては、2年の任期が今年の7月31日までということになっています。本日の協議会が実質的に任期中最後の協議会になろうかと思っております。これまで本当に図書館の運営に関しまして、さまざまな御意見をいただき本当に感謝申し上げたいと思っております。

昨年10月には、第3次古賀市子ども読書活動推進計画を策定しております。その際にも、この協議会の委員の皆様からいろんな御意見をいただきまして、今後その進捗につきまして、いろいろ御意見をいただくということになっております。すでに皆さん御承知のとおりだと思いますけども、子どもを取り巻く環境につきましては、近年、インターネットやスマートフォンの普及による活字離れ、また読書離れということが非常に問題視されています。今後はより一層、家庭・地域、学校、行政が一体となって、子どもの読書活動推進に取り組んでいくことが非常に重要になってくるだろうと思っております。

本日の協議会におきましては、平成29年度の実績及び平成30年度の事業計画、さまざまな取組につきまして、この後御報告をさせていただきたいと思っております。また、市内の小・中学校図書館の地域開放に取り組んでおりまして、市民開放用の一般図書の配本につきましても引き続き実施をしていきたいと考えております。今年度におきましても、図書館の運営並びに子ども読書活動のさらなる推進を目指してまいりたいと考えております。委員の皆様におかれましては、任期の関係上、最後の協議会ということになりますけども、できる限り今年度引き続きお願いをいたしまして、また御意見を伺いながら進めていきたいと思っております。簡単でございますが、冒頭の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 4 会長あいさつ

(事務局) 続きまして、鈴木会長より、御挨拶よろしく願いいたします。

(会長) 皆さんこんにちは。最近、我が家の近くにある生ごみ収集の場所がカラスや猫に荒らされるのですが、その対策として、ある人が「ゴミ袋の中に入れる前に新聞紙にしっかり包んで入れるべきだ」、またある人が「若い人は新聞読まないよ」と言われました。私の娘達にも「新聞を取っていない家庭が多くなった」という話を聞きました。変な例からスタートしてすみませんが、将来のことを考えたとき、スマホ、パソコン、ネットで十分だという国や地域でいいのだろうかという新聞云々から思いをはせました。

一方で、私は大学の授業の真ん中で、学生に絵本の読み聞かせを必ずしています。すると、この前学生が「この頃図書館行くようになりました。絵本ってすごくおもしろいと思いました。大学図書館、あるいは公共図書館に足を運ぶようになりました。」と言いました。読み聞かせが学生が本や図書館に目を向けるきっかけになるんだな、私達がこつこつやっっていくことが大事だと改めて思いました。

今お話があったように、我々は今期、今日で最後の会議となるかもしれませんが、また

皆さん方でお会いできるといいなと思いつつ、今日最後の会議を進めたいと思います。よろしく願いいたします。

## 5 協議及び報告事項

### (1) 平成 29 年度事業等報告について

(事務局) 早速ですけれども、本日の協議に入っていきたいと思います。

これからの協議につきましては、進行を会長、副会長にお願いしたいと思います。鈴木会長、久池井副会長、よろしく願いいたします。

(会 長) それではレジュメに沿って進めていきたいと思います。平成 29 年度の状況を報告していただき、その後平成 30 年度の計画をお話しいただいて、意見交換、協議をしていきたいと思ひます。

はじめに、平成 29 年度の活動目標取組状況、利用状況等について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局) 事務局から事業の報告等をさせていただきます。平成 29 年度活動目標取組状況及び利用状況について報告をいたします。

資料 1 は、平成 29 年度の活動目標取組状況を一覽にしております。平成 29 年度活動目標 6 点をあげまして、1 年間取り組んでまいったところです。

(1) 市民のニーズや地域の課題に対応したレファレンス・サービスの充実と活用促進に対しましては、レファレンスカウンターにてレファレンスの充実を行い、レファレンス件数が 4,231 件ございました。新聞記事や、百科事典、農業情報を検索できるデータベースの活用促進に努め、レファレンスの補助ツールとして、利用者みずからの情報検索に活用することができたと思っております。データベースの検索数は 72 件ございました。

(2) 郷土・行政資料の収集、利用者への情報提供の更なる充実に対しましては、関係団体等に協力を呼びかけまして、郷土行政資料を収集、情報提供を行っております。平成 29 年度に収集した資料は 126 冊でございます。情報提供ラック事業では、図書館内に情報提供ラックを設け、古賀市の他の課と連携しまして、市主催事業等の情報提供を行うとともに、関連する図書館資料の紹介を実施しており、平成 29 年度は 22 件紹介をしております。

(3) 第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画を踏まえた、セカンドブックや読書ノートの配布及び中学生読書サポーター養成講座等による読書活動の推進につきましては、第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画を 10 月に策定したところでございます。計画に基づきまして、下のような事業を行っております。

子ども読書の日イベントは参加者 288 人。おはなし会スペシャルは市内 6 つの地域文庫さんをお願いし、89 人参加がありました。小さい子のおはなし会は 12 回開催いたしまして 253 人、どうようおはなし会は毎週行っており 1153 人、赤ちゃんおはなし会は月 1 回、1 日に 2 回行っており 20 分ずつ 24 回、参加者が 464 人ございました。ブックスタートは毎月実施してございまして 543 人、セカンドブックにつきましては、平成 28 年度の引換率は約 50%でしたが、平成 29 年度は 3 歳児健診で配付させていただきまして引換率が 91%になっております。読書ノートは、小学校 1 年生を対象に配付しております。3 月に県立の古賀特別支援学校にも出向き、1 年生にお渡しし、全部で約 600 冊配布をさせていただい

たところ。中学生読書サポーター養成講座は夏休みに3回行い、参加者は4人でした。

(4)読書講座、読書ボランティア養成講座、図書館まつり等の講座や行事の充実につきましては、チラシや広報、ホームページなどで募集を行い実施しております。詳細は資料2に月毎に実施した事業、参加数につきまして記載しているところです。2月の協議会で、2月の終わりまでの事業の報告をさせていただきました。3月につきましては、小学生向けのおはなし会、古賀特別支援学校への読書ノートの配布を行っているところでございます。

資料1に戻っていただきますと、読書ボランティア養成講座は2回行っておりまして、参加者が39人、図書館まつりは10月に開催しておりますが、イベントの参加数ということで657人、図書館まつり自体に入館していただいた方は、資料2にありますように3,241名となっております。暮らしの講座ですが、野菜づくり講座と、東医療センターのがん支援センターと連携いたしまして医療講座を実施させていただいており、合わせて75名の参加がありました。読書講座は2回行っており、合わせて49人の参加でございます。詳細は資料2をご覧くださいければと思っております。

月例行事としまして次のページに、子どもの成長に合わせたおはなし会の実施、名画会なども記載しているところでございます。その他としまして、「まちづくり出前講座」、人権のつどいで「親子でほっこりいのちのおはなし会」、文化振興係と連携しまして「ナイトミュージアム&ライブラリー」等を行っているところでございます。

資料1に戻っていただきまして、(5)福岡県内各公共図書館等及び国立国会図書館との総合ネットワークの活用につきましては、公共図書館による相互貸借を活用いたしまして、貸出冊数が1,858冊、借りた本は1,248冊でございました。また、研究論文資料複写の依頼など、国立国会図書館との相互ネットワークの活用をしております。

(6)学校図書館との連携推進では、市内8小学校の親子読書会の活動推進及び、「読書のつどい」等を実施しております。児童文学作家の杉山亮さんをお迎えしまして「ものがたりライブスペシャル」に80人参加いただきました。「第49回古賀市親子読書のつどい」は毎年行っている読書のつどいですが、240人参加をいただいております。

また、学校司書さんおすすめの本コーナーを図書館に設置し、紹介をしております。

学校図書館開放用一般図書配本の試行も実施しております。1、2か月に1回、市内の小中学校11校に、1回につき40冊、昨年は3,396冊貸出しを行ったところでございます。以上が取組状況でございます。

資料3、平成25年度から29年度までの図書館の利用状況について書いております。平成25年度から29年度の図書館の利用状況比較一覧でございますが、貸出冊数、貸出人数、入館者数、新規登録数について月毎に集計をしているところでございます。平成29年度については、平成28年度と比べまして、貸出冊数、貸出人数、入館者数は微増しておりますが、前回の協議会でも御指摘がありましたように、月を追うごとに少なくなっているという状況でございます。その辺はしっかり受けとめながら、今年度の取組に生かしていきたいと思っております。新規登録者については、平成28年度よりは減少しておりますが、他の年度よりは多くなっているような現状が見られております。

前回の協議会で資料2の報告についてはさせていただいておりますので、御覧いただければと思っております。以上です。よろしく願いいたします。

(会 長) わかりました。今のことを踏まえて、資料1と2について、まず感想、質問も結構でござ

ざいますのでよろしく申し上げます。どうぞ。

(副会長) 活動目標(1)レファレンス・サービスの充実ですが、年間 4,231 件というのは結構数が多いと思いました。この数は利用案内程度を含んだ数なのか、もう一步進んだ、どんなふうに探したらいいかという内容にかかわるようなものなのかという確認です。それと、過去と比べて増えた結果の 4,231 件なのかを教えてくださいたいと思います。

(事務局) レファレンスの件数につきましては、カウンターでの案内、「この本はどこにありますか」という質問から、内容について詳しく調べるところまで、全て含んでこの件数になっております。数につきましては、例年これくらいなのかなと思っております。

(副会長) レファレンス件数というのは奥が深く、件数は小さいものまで含めるとたくさんになりますが中身を深く掘り下げれば時間が足りません。件数的にかなりいい部分までいっているのであれば、後は中身の充実が活動目標に対応するかなと思ってお聞きしたところです。

(会 長) 他にございませんでしょうか。私の方から、(2)郷土・行政資料関係ですけども、資料収集 126 冊とありますが、私は先ほど図書館の K の別置記号の郷土資料コーナーに行きましたら、古賀の資料で、郷土について子ども達が調べた結果のコピーがファイル化されていてすごいと思いました。小学校もそうだと思いますが、調べ学習やクラブで調べた地域の状況を資料化して、図書館の地域資料、郷土資料コーナーに置く事はとても大事だと(2)のところをお聞きしながら思いました。今後も進めていくべきじゃないかと思えます。質問ですが、郷土資料は結構集まったと見ていいんですか。

(事務局) 例年どおりぐらいの数でございます。市の中でもいろんな統計や計画等がございますので、発行された際には図書館にと呼びかけまして頂いている状況です。

(会 長) ありがとうございます。感想を申し上げますが、(4)各種イベントや図書館まつり、講座等は、古賀市ならではの活動で本当に質が高いといつも思っています。参加者数はまだまだあったらということも言われますけども、質的に非常に素晴らしい講座、講師の方を呼ばれているなど改めて思いますので、今後も続けていただきたいと思えます。

1 番下の学校図書館開放、各学校に一般図書を貸出し、配本して活動されている、このような方法も、他の地域も少しずつ増えてきているように聞いているんですけども、本当に先進的で、地域の方だけでなく、結果として子ども達にも影響しているんですよね。いろんな方が来て借りていったりすることで、学校図書館や図書館のあり方、書物にふれるということのきっかけづくりにとってもいい取組だなと改めて感心しています。また校長先生のほうにも何かそういったことがあればまた教えてくださいたいと思えます。

2 枚目の一覧表、子ども達のおはなし会の関係の 3 枚目のこともあると思えますが、参加数、内容等、昨年度の計画の中で、お気づきのこと、御質問、感想、何かありませんか。

(渋田委員) 学校図書館一般開放で、前は新聞を全紙とっていらっしやっただと思うんですけども、今は何紙配付されていますか。

(事務局) それぞれ学校のほうでとってあると思います。状況はこちらのほうではつかんでいないところがございます。

(会 長) 例えば、古賀東小学校の状況はいかがでしょう。

(安部委員) 古賀東小学校では本年度は一紙とっております。開放された当初は全学校に5紙とるようなことで始まったんですが、予算的な部分もあり、今後は学校の裁量になってきましたので、学校によって変わっているのではないかと考えております。

(洪田委員) そこがよくわからなくて、図書館として各学校に配布されているものだと思っていました。新聞については学校なんですね。本は図書館が。

(事務局) そうですね。図書館は、市民の方に利用していただけるように、一般向けの本を40冊まで配本をさせていただいているということになります。

(会 長) 図書館が新聞を購入して置いているというわけではないことですね。他に何かお気づきの点や、御質問等ございませんか。資料3が3ページ分、利用状況、入館、新規登録関係の数値やグラフが載っていますが、先ほど、微増ではあるけれども、課題もまだあるというような説明だったと思います。前回も久池井副会長からのお話もあったと思います。

(副会長) 前回と繰り返しになりますが、これだけ活字離れと言われている中であって、微増している部分は非常に貴重です。確か平成33年には入館者数20万人を目標としてあげてありました。図書館はどこもそうですけれども、入館者数は今の時期が一番多く、夏休みから秋ぐらいまではいいんですが、それ以降に少し落ちていく傾向があります。平成29年度と平成28年度を比べた場合、微増といいながら、後半は平成28年度の方が多いいですね。どういう状況にあるか、こまめに実態を把握し、手を打つなら今の時期かなと思います。特に夏休みにいろんな方々が親子連れで来るとか、学校も進級、進学して、新たに本を読みたいと思う今、はりきっている気持ちをいかに吸収するかが大事ではと改めて思ったところがございます。

(会 長) 具体的な取組をしないとまた後半でしりすぼみになってしまうという指摘もありました。その辺りで、何か手を打つということで、事務局で考えている策、今の指摘を受けて考えているという部分がありましたら。

(事務局) 後のほうでも申し上げますが、活動内容の計画を立てまして、まだ図書館に来たことのない人まで呼び込めるような講座やイベントを入れながら、できるだけたくさんの方に来ていただけるように努力していきたいと考えているところがございます。

(会 長) それに関連してでも結構ですし、質問や意見等、何かありましたら。

(檜山委員) 図書館に行きたくても何らかの事情があって来られない方達がおられるとするならば、待つ姿勢でいろんなイベントを考えてお招きするというのも一つだけども、出向いて何かをすとか。その一つが、学校の開放だったりするんでしょうか。出向いていただければ、家の近くだったら行けるのにという方たちがおられるかもしれないと思いました。

(会 長) 出前講座みたいな感じで積極的に働きかけていくような、待ちではなくて、出るということですかね。そういうのもありはしないかなという御意見ですね。

(事務局) 平成 29 年度は、出前講座で、子どもの本の選び方や与え方についてのお話をさせていただきました。平成 30 年度も出前講座もごさいますので、ぜひ申し込んでいただいて、広げていきたいと思ひます。第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画も策定いたしましたので、その辺のお話をする機会があればいいなと思ひているところでござひます。

学校には、地域の方が少しでも出向いていただけるように考えていきたいと思ひております。小学校 1 年生に読書ノートを渡す際には、司書がそれぞれの学校に出向きましておはなし会をした後、図書館のキャラクターのこちゃんから読書ノートを手渡すような、出ていくようなことをしております。このようなことをしながら、少しずつ、考えていきたいなと思ひております。

(会 長) 今言われることは写真つきの平成 29 年度の図書館要覧に載っていますね。部長さんも係長さんも言われました、第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画も、平成 29 年度に出来上がったばかりで、子ども向け、青少年向けの施策についてしっかり書かれているわけです。これを具体化していくということが一つあるでしょうね。

今日図書館の入り口にチラシがあり、「子どもと昔話」という講座が 6 月に開かれ、小澤俊夫さんと呼んでいらっしゃいます。それから、布の絵本づくり講座も 6 月。だいたい 5 月 6 月あたりから集中していろんな取組がありますね。そのことで前半は、大人も子どもも、影響され、刺激を受けて行ってみようか、借りてみようか、読んでみようか、そういうことにつながっていくなということを改めて思ひました。問題は、久池井副会長がおっしゃったように、後半、特に読書の秋にかけて、どのようにつないでいくのかというのが一つ大事になるでしょうね。何か御意見はありませんか。いろんな地域で活躍されている方もいらっしゃるわけですけど。どうぞ。

(石丸委員) 今の委員長のお話と違ひかもしれないんですけども。読書ノートの配布のときに、登録、図書館の利用者カードをつくることはされておられないんですか。

(事務局) はい、現在は持って行っておりません。

(石丸委員) その場では技術的に不可能なんですか。図書館の中で利用者登録をしないと、コンピュータとかの関係で、難しいことなんですか。

(事務局) その場ではできないと思ひますけれども、利用者カードの登録用紙がありますので、記入していただいて持ち帰ってつくるということは、以前、図書館見学に来られた子ども



さんには利用者カードをつくっていたということも聞いております。できないことはないのかなと思っております。

(石丸委員) 読書ノートを渡されるタイミングで市立図書館の利用者カードを同時に作れると、利用者カードがすぐ手に入れば図書館に行ってみようかなというようなことにもつながると思うので、よかったら検討していただきたいと思います。

(事務局) ありがとうございます。

(副会長) 私も全く同じように思っていました。利用者カードがあれば利用しようと思うんですね。場所によっては、他の市町村でも集団で利用者カードを渡しているところもあります。技術的なこともあると思いますが、利用者カードがあれば、足を運んで使ってみたいと思うんですね。これまで利用されたことがないのは、行ってないし行く機会もないということです。行く機会の1番は、利用者カードを持っているならせっかくなら使ってみたいということですね。

もう一つは、「図書館に行っても古い本ばかり」という人がいるんですよ。私はよく言うんですけど、「新しい本は皆借りている」と。予約すれば、ちゃんと順番もくるし、いっぱい活用できるけれども、行ったときに新しい本がないから「図書館の本は古い」と思っているのは誤解です。たくさんの新しい本を買っていますというアピールと同時に、カードがあればこれだけ可能性が広がる、メールアドレスの登録をしておけばインターネットを通じて予約できるという利便性をもっと知っていただき、体験してもらおうということが大事だとすごく思います。そうしないと、利用している人はどんどん利用する、そうでない人は縁がないというふうになってしまわないかなと思って心配します。

(会長) 古賀市の図書館の中身は古くないですよ。新しい本が多いです。河村委員さんいかがですか。突然ですが、別のことで結構です。

(河村委員) 私は市民の一員としてこの委員会に加わって4年がたちます。1番大きく思ったことは、今までは職場の大学図書館を使っていたので、地方の公共図書館にお世話になる必要性がありませんでした。実際にどんなことをやっているのかなと思って、協議会にも参加して、いろいろ教えていただき、事業のプログラムを見せていただくとうすばらしいんですね。私は、こんなに地方の公共図書館が頑張っているということに非常に驚き、感心いたしました。

実は、大学関係にも市立図書館がこのような多彩なプログラムをなさっている状況を知らせたら良いとかねがね思っていました。私が属している小さな研究会のような、「日本人類言語学会」の発表会が2日前にありまして、「地方公共図書館における多彩な事業プログラムの取組」というテーマで発表しました。これはもう公表していいことですので、人口58,000人の小さい市の図書館の全体の概況とともに、個性的で質が高く多彩な事業の内容について、子どもの読書活動支援に関する活動と、我々が特に要請をしている、退職後を主力とした社会人や高齢者に対する新しいプログラム、その二つの分野を中心として紹介しました。保育課の現場の准教授もたくさんいましたので、非常に大きい反響がありまし

た。特に子ども達の場合には、必要な適切な機会に意欲を刺激すればどんどん取り組んで来るということをおっしゃっていましたね。例えば、この活動を見て、保育課の准教授の先生は、こちらの図書館を通じて、子どもに対する読み聞かせ、物語を通じての思考力やイメージーションを育成する活動がすごく進んでいることに非常に関心を持たれていました。図書館など公共の場でもやっていただくと同時に、例えば保育所の養成機関でも連携しながら、子どもが本当に創造的な思考力や感情、豊かな情感の世界を持てるよう、あらゆる社会機関を結びつけて協力し合えればという意味で紹介をさせていただきました。公表できる範囲内で、いかに頑張っておられるかを僭越ですが発表させていただいて、学会員の言語の専門の先生方もすばらしい活動だなとおっしゃっていました。

(会 長)           ありがとうございます。後で披露していただき、教えていただきたいくらいです。今言われたように、こがめルームでしている活動や、ブックスタート等々もありますね。就学前、年少児の子どもへの取組や学齢児の子どもへの取組が充実しているということを今後もぜひアピールしていきたいと思います。一方で、青年、高齢者への取組をしていることをぜひPR、広報し、自信を持って、胸を張っていいんじゃないかという御指摘でないかと思います。これまでの取組を踏まえながら、今後のことが見えてきました。

## (2) 平成 30 年度事業等計画について

(会 長)           次にいきたいと思います。平成 30 年度の運営方針と活動目標、その具体化に話を進めていきたいと思います。資料 4 以降の説明をよろしくをお願いします。

(事務局)           資料 4 をご覧ください。市立図書館の運営方針と活動目標というところで、上に運営方針、下に平成 30 年度の活動目標をあげております。運営方針につきましては、基本的なことは、根底となるところでございますので変わりございません。活動目標につきましては、平成 30 年度は 6 つの活動目標をあげております。

(1) 市民のニーズや地域の課題に対応したレファレンス・サービスの実施、平成 29 年度と同様に、図書館資料の検索、調査・研究等、必要に応じて職員が話を伺いながら、課題解決の支援をさせていただきたいと思っております。

(2) 郷土・行政資料の収集・保存、利用者への情報提供の実施、平成 30 年度も、古賀にしかない資料を貴重な資料として、古賀市の郷土行政資料を関係部署などに協力を呼びかけながら収集し、情報提供ができるように充実を図っていきたいと考えております。

情報提供ラック事業も行っております。市役所の他課と連携しながら、古賀市が主催しております事業も紹介しながら、図書館の関連図書も紹介していきたいと思っております。事業のことも知っていただき、本でさらに深めていただくというようなことを考えているところでございます。

(3) 第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画を踏まえ、家庭・地域、読書ボランティア団体、学校等と連携した読書活動の推進でございまして。平成 29 年 10 月に第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画を策定いたしました。家庭・地域、読書ボランティア、学校等、すべての人が子どもの読書活動にかかわり、協力して連携してますます子ども達が本を読むようにしていこうということをつくっております。図書館でも、家庭・地域、読書ボランティア団体、小・中学校、保育園・保育所等と連携しながら、読書活動をさらに推進してい

きたいと思っております。その計画の中に盛り込んでおります事業を3点、説明いたしたいと思っております。

資料5の裏に月例行事として記載しております。一つは、平成28年度から実施しているセカンドブックでございます。1人でも多くの親子に絵本を手渡すことを目標に3歳児健診時に配布を実施しましたところ、先ほど申しあげましたように91%の親子に手渡すことができしております。平成30年度も3歳おすすめの本のリストをお渡ししながら、本を通して親子のふれあいを持つこと、親子で幼い頃から読書の習慣をつける大切さについてもお話ししながら手渡せたらと思っております。

読書ノートの配布につきましては先ほど御意見いただきました。平成30年度も引き続いて行っております。小学1年生対象に全8小学校へ配付しており、5月16日で市内全ての小学校への配布が終わっております。図書館にも、新しい読書ノートを持って来て、借りた本のシールをもらう子ども達の姿が見られます。「この間、学校でお話ししてもらった」などと言いながら、図書館に本を借りに来てくれる様子もある、そういう姿がたくさん見られるようになったらいいなと思っております。秋以降には、福岡県立古賀特別支援学校にもプレゼントしたいと考えております。

古賀市中学生読書サポーター事業も3年目の取組になります。読書の楽しさや大切さを学校や地域に広めていく読書サポーターとして活躍してくれる中学生を募集し、講座を実施したいと考えております。平成30年度はおはなし会をテーマに講座を進めていきたいと考えております。養成講座を終了した後は各中学校や地域、市立図書館でも読書推進活動を続け、読書の輪を広げてほしいと願っております。

第3次古賀市子ども読書活動推進計画を平成29年10月に策定しましたけれども、進捗状況の管理につきましては、この図書館協議会で行うこととしております。市役所関連部署につきまして進捗状況の調査等を行いながら、こちらで御意見をいただきたいと思っております。

(4) 読書講座、読書ボランティア養成講座、図書館まつり等の講座や行事の実施でございます。平成30年度に図書館で行います事業については、資料5を御覧ください。月毎に一覧にしております。4月、子ども読書の日イベントを実施しております。お楽しみ貸出袋を21日、22日に行い、52袋お渡しすることができております。親子ふれあい遊び、体を使ってコミュニケーション体験をしようというところで、保育心理士の辻さんに来ていただいております。親子で27人ということで、人数が少なかつたんですけども、大いに体を動かし、ふれあいを持っていただき、本の読み聞かせもしていただきながら、楽しいひとときを過ごしたところです。ぬいぐるみおとまり会、今年は6人参加ということで、おはなし会の後、ぬいぐるみを預かりして、夜には図書館内を探検する様子の写真を次の日に、お渡しするというようなことをさせていただいております。子ども読書会を今年初めて企画しております。子どもが絵本から児童書に移るときにうまく移れないという状況もございまして、絵本の読み聞かせはあるんですけども、本を読むというのがなかなかありませんので、児童書を中心に小学校の子どもさんに何人か来ていただいて、読みつなぎをしていたり、平成29年度養成しておりました中学生読書サポーターの方にブックトークをしていただいたり、高校生のお子さんに児童書を読んでもらったり、新たな取組をしております。こちらは22人の参加でした。

4月から5月中旬には先ほど申しあげましたように、小学1年生に読書ノート配布とおはな

し会をしております。

6月は布の絵本づくり講座4回連続で、毎週金曜日に行います。布のおもちゃ「くるりんこ」という、くるりと返すとまた違う動物が出てくるというような布の感触を感じながら遊べるおもちゃをつくっていかうということです。布の絵本ボランティア「つくしんぼ」を講師に講座を開く予定にしております。

6月30日には「えいごでおはなし会」、平成29年度に行いまして、大変人気でこがめルームがいっぱいになりましたので、平成30年度は中会議室で計画しております。

7日に東医療センター連携講座、平成29年度は、肺がんをテーマにあげておりました。平成30年度は大腸がんについて、講師を招いてお話をさせていただくことにしております。出張相談も、何人かさせていただきたいと思っております。

7月22日には市内の地域文庫の6団体さんによるおはなし会スペシャル、25日には、初めて取り組む「夏休み小学生プログラミング教室」を福岡工業大学との連携事業として、学生さんにも応援していただいでやりたいと思っております。パソコンは使用しないで、ブロックなどを使ってプログラミングの考え方や基礎をゲーム感覚で学んでみようということで、小学生の高学年を対象に行っていきたいと思っております。

夏休みの小学生向けおはなし会は、3日間日程をとっております。昨年度は参加人数が少なかったため、今年度はしっかり小学校にアピールしながらできたらいいなと思っております。7月の終わりから8月にかけて、古賀市中学生読書サポーター養成講座を行います。

9月に、読書ボランティア団体交流会、10月は子ども図書館員を7日に行います。後半には第24回図書館まつりを行っていきたいと思っております。ブックリサイクル、ことちゃんぬりえ、布絵本展示等と書いておりますけれども、内容を精査して決めながら、取り組んでまいりたいところです。

12月には、小学生向けおはなし会、2月には、古賀市親子読書会、第50回を迎えます「古賀市親子読書のつどい」を行いたいと思っております。2月17日に、暮らしの講座「野菜づくりのコツと裏ワザ」、人気の講座になりますが、第4回目ということで実施いたします。3月には、蔵書点検、小学生向けおはなし会というところで、月毎の計画をしております。

次のページには、月例行事として毎年行っております行事になりますが、年齢に応じた行事を考えております。その他のところに子ども映画会がございますが、毎月実施していただいですけれども、子ども達の参加者が少なくなってきましたので、集中してこの日に来てくださいという御案内をしながら、1回の参加人数を増やすような工夫を考えていきたいと思っております。読書の楽しみを広げる講座ということで、平成29年度はビブリオバトルを行っておりますので、今年も読書会か、ビブリオバトルか、それに類するようなことを考えていきたいと思っております。

その下ですけれども、九州産業大学との連携事業ということで、「感情認識人型ロボットペッパー」の活用事業、図書館でペッパーを体験するというのも予定しているところでございます。以上が今年度の事業となります。各行事につきましてはチラシ、広報、ホームページ、記者発表やフェイスブックなど、あらゆる手法でお知らせしながら進めていきたいと思っております。

(5)福岡県内各公共図書館等及び、国立国会図書館との総合ネットワークの活用につきましては、公共図書館における相互貸借の活用、研究論文、資料複写の依頼、国立国会図

書館との総合ネットワーク活用等、今までどおり行っていきたいと思っております。1 番目の取組ともつながってくる、利用者のニーズと課題解決の支援として考えているところでございます。

(6) 学校図書館との連携推進につきましては、学校司書おすすめの本の展示、親子読書会など、連携しながら進めていきたいと思っております。昨年度試行しておりました、学校図書館の地域開放に伴う一般図書の配本を定期的に行いまして、地域市民の方の読書を支援していこうと思っております。教育総務課、学校教育課と連携しまして、1 校 40 冊までを目安に、第 1 回目の配本をすでに行ったところでございます。1 か月ごとに本の取りかえをしながら、軌道に乗せていききたいなと思っております。

以上が、平成 30 年度の活動目標になります。今年度は、図書館の開館時間延長などを含みます一部窓口業務につきましても、調査研究を進めてまいりたいと思っております。生涯学習を支援する情報センター、読書センターとして、市民の役に立つ図書館づくりに向け、職員一同取り組んでいきたいと思っております。以上です。

(会 長) どうもありがとうございました。詳しく説明していただきました。目標については平成 29 年度と似ているところもありますので、内容的には御理解いただけたいと思います。具体的な事業計画等も踏まえて、一括して協議していきたいと思っております。御意見等、あるいは御質問ありましたらどうぞ。

(村山委員) 図書館の運営の方針からはそれないと思うんですけども、事業計画の中には、取り上げられていない内容で、事業の中では名画会や子ども映画会というのがあります。図書館には CD や DVD 等の視聴覚資料がたくさん置いてあります。

平成 28 年度の 9 月から、平成 29 年の 8 月まで 1 年間、年配の 6、70 歳以上の女性の方を対象に、例えば鍵盤ハーモニカを練習したり、体操したりする中で、「いきいき音楽校」というのが大変好評でした。その後、女性の皆さんが「歌が歌いたい」と言われて、結局私がすることになりました。歌って聞かせることはできないので、「愛燦燦」だったら美空ひばりさんという感じで、CD を持っていきまして、皆さんと一緒に歌ったわけです。60 歳以上の女性の方が、音程が高くもなく低くもなく、歌って達成感を感じるような歌を探し出すということは非常に困難をきわめましたけれど、毎回ヒットするようなものを、実は全部図書館の CD をお借りしてやってみました。お金もかからず、そして、大変皆さんお喜びになりました。運営方針の「生涯学習を支援する情報センターとしての任務」というか、図書館のあり方としてはそのような活用の仕方もあったんだな、また、暮らしに役立つ豊かな心も育ったなというように思いました。

1 年間で終わったのは、皆さんの気持ちが高まって合唱クラブをつくられて、音楽学校を出られた先生が実際に指導されるようになったからです。そこまで高まったというのは、図書館からたくさんの CD を貸していただいて、その中で吟味いたしまして、60 歳以上の女性の方が「良い歌ばかり」というのを選ぶことができたのは、自分で買ったものではなく、たくさん貸していただけたからと思いました。この目標の中には、本のがほとんどですけど、CD とか DVD 等たくさんの資料がございまして、そういうところにも視点をあてられて活動を増やしていかれたらいいなと思いました。

(会 長)            ありがとうございます。貴重な御意見をいただきました。オーディオ・ビジュアルコーナー、AV コーナー、新聞や雑誌の奥のほうにありますね。視聴覚資料も図書館の大事なメディアの一つです。活用することで、今のお話のように次の段階に発展し、結局、図書館が人々の生涯学習や生き生きとした暮らしや健康づくりに役立つ、とても大事なことでないかという指摘だったと思います。

(河村委員)        河村です。私も退職して、視聴覚のコーナーに行ってみて、役に立つものも活用させていただき、懐かしい映画も拝見しました。感じるのは、蔵書の充実の一方で、何だか古いのが多く、最近はないがしろにされているのかなというような感じです。定年退職をしたら本も読んでと思っていたのですが、視力とか体調とかの関係で、結局予想外に有効に役に立ち、私達に訴えてくるのは視聴覚教材なんですね。これはいろんな文学の作品もたくさんありますし、とても素敵です。とにかく古いので、もうちょっと検討していただいて、最近のものも何とかできないのかなとも思っています。

(渋田委員)        この協議会で、私たちが常々言ってきたような、今足りていない部分がこうやって平成 30 年度の計画の中に盛り込まれて反映されているのをうれしく感じています。先ほど説明があったように、ブックトークを中心とした、子どもが絵本から児童書にいくきっかけの講座を 22 日にされたということですし、小学生向けのおはなし会も、徐々に話を取り入れてもらっているのをすごくありがたく思います。

                  もう一つ、平成 30 年度の目標の(3)学校や読書ボランティア団体との連携という部分で、ブラックシアターなどの備品貸出期間の延長を検討してほしいと前回の会議で言ったと思うんですけど、その後どうなったのでしょうか。

(会 長)            貸出日数の延長の件は、どうなったのでしょうか。

(事務局)        話し合いは職員の中でしております。ただ、備品につきましては、他の団体さんもいらっしやいますので、原則というところで、きちんと規則なり決めておかないといけないと思っているところです。そのところをクリアしながら御相談いただけたらなと思っています。

(会 長)            先ほど言われました絵本から児童書への橋渡しは、学校の読書指導にもつながるととても大事なところです。学校もそこは難しいところもあるんですけど、今後の課題といいますか、それぞれ学校の方で、安部校長先生も代表してどこかの場所で先生方にお話をさせていただくなどしていただければと思います。学校としての課題もあるんじゃないかと思うので、そのあたりお願いしたいと思います。どうぞ。

(副会長)        平成 30 年度の事業も非常に行事の内容が素晴らしいと思います。毎年いろんな形でチャレンジされているところが古賀市立図書館の素晴らしいところだと思います。

                  平成 30 年度も医療講座が行われますね。平成 29 年度も医療講座をされてありますが、私が思ったのは、単に講座をするだけでなく、東医療センターとつながっていますよね。図書館の価値、値打ちを知っていただくと同時に内容をわかりあう良い機会になって

いると思います。

野菜づくり講座も平成 30 年度もありますけれども、図書館資料の使い方も含んだ内容なんですね。先ほど最初の会長のあいさつにもありましたように、活字離れといった部分もありますが、子ども達や大人が日常に活字にふれあえる一番の場は図書館だと思います。図書館が輪の中心になって、図書館でされる行事がいろんな形でつながりをもっていけるようなあり方が大事だと思います。

平成 29 年度はビブリオバトルもありました。平成 30 年度も検討していただいていると思いますけれども、学校とうまくつながっておかないと上手にいかないと思います。平成 29 年度も確か学校の先生方が来ていらっしやって、子ども達が参加されていたという部分がありました。単独に「ビブリオバトルにおいで」といってもなかなか敷居が高いと思います。学校に呼びかけて、学校とともに歩むというのが一番大事かなと思って見せていただきました。

ぬいぐるみおとまり会についても大変面白い内容だったんですけども、参加者が少なかったのは知っていただけなかったんじゃないかと思うんですね。周知する機会や広報をもっと大事にしておくべきだと思います。

先ほど私が発言した中で、「図書館の本が古い」というのは私が思っているわけではありません。図書館に行かない人が「本屋さんに行けば新しい本がある、図書館の本はわりと古い本ばかりあるんじゃないか」と思っているんじゃないかなと思います。図書館に来たら違うんですよ。一番新しい本は確かに貸し出されていますけれども。そういった意味では、知っていただいて、利用するための道順をつけるのが非常に大事かなと思います。平成 30 年度も新しい行事を知っていただいて、参加されることを望んでいます。

(会 長)

ありがとうございました。新しい事業の中で、「感情認識人型ロボット ペッパー」との連携事業があるようで、これは初めてでしょうか。また、一般の方の研究のために県内の公共図書館との横断検索ができるような状況、国立国会図書館総合目録ネットワーク「ゆにかねっと」に入って情報をみられる、こういったこともすごい取組だなと改めて思いますので今後ともお願いしたいと思います。

もう終わっている子ども読書会とか、今言われたビブリオバトル、読み聞かせなどの取組を含めて、一年間の行事が本当に多種多様にいろんな面にわたっていることが非常に素晴らしいと改めて思います。落語もあれば、医学や農業などの暮らしの講座などもあるし、担当の方は大変だと思いますけれども、ぜひ充実させていただきたいと思います。よろしくお願いしたいと思います。加えて何か。

(石丸委員)

今の企画が多種多様にわたって担当の方が大変じゃないかというお話のところ、私の考えですけども、やっぱり図書館の中だけでいろんな企画を考えられるというのは職員の方も大変だと思うんです。あそこの施設が一体化しているということを考えたら、図書館ではなく別の団体で当日行っている講演会なりコンサートなりの企画とコラボして本を置くとか。全部を図書館が担うということではなく、あの館一体として、同じテーマで、図書館では本が置かれている、ホールではそのことに関するイベントが行われているみたいなやり方、歴史資料館とコラボするとか、可能性はいろいろあると思います。せっかくだらなところにつながっていて、行き来しやすい施設になっているんですから、いろん

な企画を他の課や団体と連携することも含めて検討していただけたらと思います。

先ほど鈴木会長がおっしゃった小澤先生の講座は、実は私が所属している団体が企画している講座なんです。それぞれの団体が別に企画すると、私達も人を集めるということに苦勞しています。いろんな団体がいらっしゃるの、協力し合って補ってあげれば、よりよいものができるんじゃないかと思うんです。特に古賀はボランティア団体の交流会があつているくらい団体が多く、それぞれがいろんなアイデアを持っていらっしゃると思うので、図書館がつなぐ役割を担っていただけると、それぞれの団体も活動がしやすくなるのではと思います。よろしくお願いします。

- (会 長)            ありがとうございます。  
                     檜山委員さんがいらっしゃるサンコスモではブックスタートもあつているんですよ。
- (檜山委員)        はい、ブックスタートはサンコスモであつています。
- (会 長)            場所は離れていますけれどもあそこでもやっていますよね。ほかに、感想でも結構です。
- (副会長)           コラボの内容ですけれども、もし交流館でコラボした場合には、図書館でこんなことがあつてほしいですね。交流館にいらっしゃる方が、図書館まで足を運んでいらっしゃるかというそのまま帰られる方も結構あるんじゃないかと思うんです。図書館に行って交流館に行かない人ももちろんたくさんいらっしゃいます。  
                     連携する内容があれば、サンコスモにも図書館の紹介コーナーがあるのが大事なかなと思います。場合によっては出張所でもぜひ置いてくださいというアピールも必要かなと思うくらいです。そうしないと、せっかくリーパスプラザができて、そのなかに図書館がある意義が発揮できないと思います。ぜひ検討していただければと思います。
- (会 長)            その辺りは力丸課長さんが多岐にわたり、多方面にわたってご存知かと思ひます。
- (課 長)            貴重な御意見いただきましてありがとうございます。先ほど言われましたとおり、イベントのときに図書館にこのような本をそろえていますという宣伝する必要があるかなと、私ども御意見頂きまして、はつと思ひました。生涯学習推進課とも、お話をさせていただくとか、イベントは団体さん同士だと思ひますので、団体さんに行って「こういうことを伝えていただけませんか」というようなお話をしながら、そういう部分が伸びて行けばと考えます。その辺あたりぜひ取り組ませていただきたいと思ひますのでよろしくお願いします。
- (会長)            よろしくお願ひいたします。ありがとうございます。  
                     先ほど開館時間の延長も検討ということもいわれましたので、その辺りも含めて、検討していただければと思ひます。以上で、予定していた協議は終了したいと思ひます。特にお話されたい方がいらっしゃいましたらどうぞ。
- (渋田委員)        今日が私達の最後の協議会になります。検討課題の中で、「開館延長とカウンター業務の



委託の話を今から考えていきます」とのことでした。

私達市民からすると、カウンターというのは、直接市民と行政をつなぐ場だと思えます。カウンターを業務委託すると、市民の声が中のほうまでなかなか届かないと思われます。今業務委託している図書館に聞かれて、良いところ、悪いところを本当に吟味して検討を進めていってほしいと思えます。

私が知っているある図書館に業務委託で入っている知人がいて、板挟み状態になっているようです。「市民からは『こうしてほしい』と言われ、自分たちは委託だから中に持ち上げられない。カウンターにいる人が一番文句をいわれるのでやっぱり板挟みになって、なかなか働いている人もつとまらない」という話を聞きます。そういうことも含めて、せっかく良いものが今まで培われてきていますので、開館時間延長はとてもうれしいんですけども、カウンター業務の委託については本当にしっかり考えてほしいと思えます。以上です。

(会 長) 市の方針、予算等も含めていろいろとあると思えますが、検討をよろしくお願ひしたいと思えます。それでは予定していた件は終了しましたので、これで終わりたいと思えます。

(3)その他

(会 長) 事務局の方から一点あるということでしたのでお願ひいたします。

(事務局) 毎回お願ひしているのですけれども、会議録の公開に先駆けまして、校正のご協力をお願ひしたいと思えます。今回は、鈴木会長、檜山委員さんにお願ひしたいのですがよろしいでしょうか。よろしくお願ひしたいと思えます。

会議録ができましたらお手元に送らせていただきますので、御覧いただきまして訂正等をお願ひしたいと思っております。ご多用中とは存じますけれどもご協力よろしくお願ひ申し上げます。以上です。

(会 長) それでは、以上で協議内容を終わりたいと思えます。後は事務局にお返しします。

(事務局) 鈴木会長ありがとうございました。

平成 28 年度からお願ひしております 2 年間の任期は、平成 30 年 7 月 31 日で満了ということになります。会議につきましては、今期の会議の最終ということになります。

委員の皆様のご協力本当にありがとうございました。

(会 長) 私からも最後に、委員の皆様からこれまでいただきました積極的な御意見、あるいは厳しい御意見も含めて、これら全て大事な提言、御意見だと思えます。このことを受けて、少しでも古賀市の図書館、古賀市民の方々のこれからの生涯学習に向けて、大事な協議がその都度できたのではないかと思えます。皆さんの御意見のおかげではないかと、本当に嬉しく思っているところでございます。長い間おつかれさまでした。ありがとうございました。

#### 4 閉会のことば

(事務局) 最後に、閉会のことばを図書館長の梅谷よりいたします。

(館長) どうも長時間おつかれさまでございました。

今日は平成 29 年度に実施しました事業、あるいは平成 30 年度に実施する予定の事業の計画について御協議いただきました。たくさんの貴重な御意見をいただきまして、まことにありがとうございました。御意見を参考に、平成 30 年度も工夫をこらした図書館運営を行っていきたいと思っております。

係長が先ほど申し上げましたように、今期は今期最後の協議会となります。2 年間まことにありがとうございました。改めまして御礼申し上げます。

これからも図書館サービスの向上と一層の充実に努めてまいりますので、皆様のご支援ご協力のほど、これからもよろしくお願ひしたいと思います。

それではこれもちまして平成 30 年度第 1 回古賀市図書館協議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。